



発行所 / 岩国地区防災協会
 (事務局 岩国地区消防組合消防本部内)
 TEL (0827) 93-3310
 印刷所 / 有限会社 広瀬印刷
 TEL (0827) 72-2600

文化財防火デーに伴う消防訓練

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

昭和24年のこの日、現存する世界最古の木造建築である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機に制定されました。寺院などの建造物、仏像、絵画など古くから伝わる文化財は、我々の先祖から守り伝えられてきた貴重な財産です。これらの文化財を火災から守るため法隆寺金堂が焼失した1月26日を「文化財防火デー」と定め全国的に文化財防火運動が展開されます。



岩国市でも1月26日の文化財防火デーを前に、国の重要文化財に指定されている「旧目加田家住宅」で、21日に消防訓練が行われました。訓練には、岩国地区消防組合、岩国市消防団のほか、地元自治会、岩国観光ガイドボランティア等の人たちも数多く参加され、消防機関への通報や水バケツによる初期消火など熱心に取り組みました。

文化財は、国民共有の財産として、後世に継承していくため、地域の力でしっかり守っていきましょう。

春季全国火災予防運動

【3月1日～3月7日】

令和6年度全国統一防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

この時季は、空気が乾燥して火災が発生しやすいため、火災予防思想の一層の普及を図り火災の発生を防止し、高齢者をはじめとして死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として全国一斉に春季火災予防運動が行われます。当協会も、期間中、各種行事に広報物品を提供するなど火災予防運動を推進しています。



令和6年 火災発生状況

	発生件数	火災種別					死者	負傷者
		建物	林野	車両	船舶	その他		
令和5年	82	26	8	5	0	43	5	10
令和6年	59	24	3	8	0	24	4	5

岩国地区消防組合管内では、令和6年1月から12月までの一年間に59件の火災が発生し4名の尊い命が失われました。大切な命や財産を守るため、日頃から火の取扱いには十分注意しましょう。





先進地視察研修記

株式会社 ケイ・エム・エム
所長 後藤 光宏 さん



この先進地視察研修はコロナ渦で一時中断されていましたが、昨年から再開され、私はその時初めて参加し感銘を受け今回も参加することに致しました。

10月30日(水)は季節外れの台風の影響で曇りでした。しかし、今回の視察研修地は日本で最も晴れの日が多いと言われる「晴れの国岡山」ということで期待を抱きつつ、岩国観光さまの取計いにより新車のバスに研修参加者13名が乗り込み、岩国地区防災協会会長の大田様の挨拶で視察が開始となりました。

まず訪れたのは、737年に行基によって開基されたと伝えられる岡山県井原市の樋の尻山(ひのしりやま)嫁いらず観音院です。入り口には7.7mもある日本最大の聖観音菩薩が出迎えてくれました。この寺院の嫁いらず観音の名前の由来は「老いても嫁の手を煩わすことなく、健康で幸せな生涯を全うできる」にあると言われています。参加者全員で健康長寿と旅の安全を祈願しました。

次に最初の視察場所である中国電力(株)玉島発電所に訪問しました。この玉島発電所は火力発電所として昭和46年3月に1号機が稼働し始め、現在では3基が稼働し岡山県の約半分の電力を供給しているとのことでした。さらに、この発電所の特徴は電力供給の応答性に優れているようで、真夏、真冬の電力ピーク時にその能力を発揮するとのことでした。見学では、発電する大きなボイラーやタービン、建屋屋上にも案内していただきました。屋上(ビル20階相当)では水島臨海工業地帯が一望でき、目の前には巨大な煙突2本(170m、210m)に圧倒されると共に、岩国火力発電所にあった2本の煙突を懐かしみました。玉島発電所は環境に配慮していること、災害発生時の対応にも万全を期して地域と連携した防災訓練を実施していることを知りました。

一日目の研修を終え、宿泊地の倉敷駅前ホテルに到着、雨の心配もなかったので夕食までの時間各自倉敷市内の散策をしました。私は倉敷美観地区を散策し、ライトアップされた白壁造りのお屋敷と洋風建築が倉敷川の川面に映し出された幻想的な風情を楽しみました。その後、岡山の郷土料理を頂きながら会員相互の交流を深めました。

視察研修2日目の最初は倉敷市立自然史博物館を見学しました。1階エントランスホールでは実物大模型のナウマンゾウの親子が出迎えてくれ(動きます)、2階、3階には下津井の漁師網にかかった化石や岡山の動物、昆虫、植物の標本など多くの展示があり普段野生ではなかなか見慣れない岡山県のいきものを間近に観察できました。

次に旭化成(株)水島製造所を訪問しました。この製造所は、私たちの生活に欠かせない石油化学製品の基礎化学原料を製造する一大拠点ということで、製造所の規模も、B地区とC地区合わせて140万㎡、東京ドーム約30倍の広さがあるとのことでした。今回我々はB地区を訪問させて頂きました。大きな感銘を受けたのが、この地区の企業間の連携が強いことでした。防災連携はもちろんのこと、海底パイプラインで4社を結んだり、エチレンの生産効率化のためにプラントを合併するなどの対応を他社と協同して行っていることを知りました。バスでB地区を見学しながらプラントの変遷の説明を受け環境の変化に対応する重要性を学ぶことが出来ました。

視察最後に訪れたのは倉敷市下津井にある「むかし下津井回船問屋」でした。ここでは説明員の方が岡山県の歴史、下津井の歴史を説明頂き楽しく学べました。児島半島の先端に開かれた下津井港は最盛期には多くの北前船が来往し商業が発達しました。その後この界隈は浅瀬の海でそれを利用し干拓により土地を広げたが、塩害で稲作は不向きなため綿花を栽培し織物産業が発達し日本一の織物産業地へ発展していったことを知りました。時代によって産業の栄枯盛衰を知る良い機会となりました。

今回の視察研修では、地域全体で環境の変化に上手く順応し、協同し、発達していく重要性を実感できました。最後になりましたが、このような有意義な視察研修の為に尽力いただきました協会事務局並びに関係者の皆様から感謝申し上げます。



中国電力(株)玉島発電所



嫁いらず観音院



旭化成(株)水島製造所



倉敷市立自然史博物館

共進株式会社様 救命講習資器材寄贈式

令和6年8月20日、いわくに消防防災センターにおいて、救命講習資器材寄贈式が実施されました。

これは、当協会会員事業所である共進株式会社様から創業90周年の記念事業の一環として、心肺蘇生トレーニング及びAEDトレーナーが岩国地区消防組合消防本部へ寄贈されたことに伴い、行われました。

寄贈式では、高瀬代表取締役から目録が贈られるとともに、「地域住民の安心・安全のために役立てていただきます。」とあいさつがあり、富岡消防長が感謝の意を表しました。

寄贈された資器材は、救命講習会等で活用され、応急手当の更なる普及啓発に役立てられます。



危険物取扱者試験準備講習のご案内

いわくに消防防災センターにおいて、危険物取扱者試験乙種第4類受験者を対象に、危険物取扱者試験準備講習を実施します。

危険物取扱者試験は、「危険物に関する法令」「基礎的な物理学及び基礎的な化学」「危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法」の3科目について、科目ごとの正解率がそれぞれ60%以上であることが必要です。

3科目のうち、1科目でも60%未満のものがあると、他の全科目が満点でも不合格になりますので、合格するには、科目ごとに重要なポイントを効率よく勉強することが必要となります。当講習では、(一社)山口県危険物安全協会連合会が監修した「乙種第4類テキスト(非売品)」を使用しています。

このテキストは、毎年、県内消防本部の危険物規制事務担当者が、出題傾向を分析して改訂しています。科目別にとっても簡潔にまとめられており、受講者にも大変好評のテキストです。

準備講習は毎年2回、前期危険物取扱者試験(6月)及び後期危険物取扱者試験(11月)の約1ヶ月前に実施しています。テキストだけでなく、講師も熱心に分かりやすく重要ポイントを説明してくれますので、乙種第4類を受験される方はぜひ準備講習を受講してみてください。



令和7年度前期危険物取扱者準備講習は、4月4日(金)より受付を開始します。

防災協会会員 6,400円
非会員 9,400円

- ・講習料
- ・乙種第4類テキスト
- ・乙種第4類例題集 含む



～ 岩国地区消防組合からのお知らせ ～

いのちを守る 10 のポイント

* 4つの習慣 *



- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときはそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを掃除し不必要なプラグは抜く



* 6つの対策 *



- 1 ストープやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 部屋を整理整頓し、寝具衣類及びカーテンは防災品を使用する
- 4 消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加などで地域ぐるみの防火対策を行う



令和7年度 各種試験・講習のご案内

◎危険物取扱者試験 (山口県内)

※ 詳細については、案内・ポスター等をご覧ください。

		【前期】	【後期】
試験日・実施地区		6月14日(土)・柳井市、他5市 6月15日(日)・岩国市、他6市	11月15日(土)・岩国市、他6市 11月16日(日)・柳井市、他5市
願書受付期間	書面申請 電子申請	4月 4日(金)～4月17日(木)	8月29日(金)～9月11日(木)
準備講習		5月15日(木)・16日(金)	10月中旬予定

◎消防設備士試験

試験日	9月 7日(日)
願書受付期間	書面申請 電子申請
予備講習会	7月 7日(月)～7月18日(金) (一財)山口県消防設備協会へお問い合わせください

※各試験の願書・受験案内、保安講習受講申請書、免状書換申請書は、お近くの消防署、消防出張所でお渡し出来ます。

◎危険物取扱者保安講習 (予定) ※ いわくに消防防災センター

講習区分	講習日	講習時間
A区分	8月 5日(火)／9月 3日(水)	13時～16時
B区分	7月24日(木)／8月26日(火)	
C区分	7月25日(金)／9月26日(金)	

☀️ 他市の開催日程、オンライン講習につきましては、4月中旬にホームページにてご案内いたします。

事務局 だより

全国危険物安全協会広報誌『危険物と保安』が、全国危険物安全協会のホームページよりご覧いただけます。また、全危協メールマガジンへ登録されますと、「危険物と保安」の発刊時、全危協チャンネル (YouTube) への新規動画のアップロード時、危険物安全週間に関する新着情報などのお知らせが、速やかにメールで配信されます。



<https://www.zenkikyo.or.jp>



♪新会員募集中

当協会は、岩国地区内の危険物関係施設及びガス関係施設、一般事業者を対象に、会員相互の連絡と親睦を図り、各種災害の未然防止等を目的とする団体です。



入会すると・・・

- ① 年2回会報の配布 (防火防災情報、試験・講習等の案内)
- ② 危険物取扱者試験準備講習を会員価格で受講
- ③ 防災先進地等への視察研修に参加
- ④ 火災予防啓発用防火ポスター等の配布
- ⑤ 防火・防災グッズ等の配布
- ⑥ 防火講習、救命講習を開催
- ⑦ 事業所及び個人への功労者等表彰
- ⑧ 防火教育用DVDの貸出



等の特典があります。

会員の皆様からのご紹介を お待ちしております。



※ メールアドレスの登録にご協力ください。

会報・講習会・各種行事等、メールでのご案内も実施していきたいと思っております。代表メールアドレスを当協会のe-mailアドレス宛にご連絡ください。

会員のみなさまのご協力をよろしくお願いたします。



※事業所名・代表者名などの変更がありましたら事務局までお知らせください。

岩国地区防災協会

電話 (FAX兼) 0827-93-3310

Email : ibk-3310@sky.icn-tv.ne.jp

